

筑波会議 2019

募金趣意書

筑波会議委員会

## 筑波会議 「社会と科学技術」

我が国における学術研究と開発研究、産業と経済を代表する立場にある者で構成する筑波会議委員会は、世界の若手研究者等が筑波研究学園都市に参集し「社会と科学技術」に関する様々な課題について討議する国際会議を開催することで意見が一致し、2019年に筑波会議を開催することを決定しました。

近年の情報通信技術、生命科学、物質材料科学、脳・認知科学などの急激な発展は第四次産業革命を招来し、商品・サービスの内容や提供・消費の在り方、産業構造のみならず人々の働き方までも大きく変えるものと考えられています。

このような時代背景の中で、これからの科学と技術の発展を担い、科学研究と技術開発に従事する分野、所属、国籍を問わないすべての若手研究者等に対して、自らの研究や開発と社会との関わりを考え、そのことを通じて社会的な意識や態度を涵養する機会を提供することが求められています。

若手研究者等による国際会議一分野、所属、国籍を異にする多数の若手研究者等が参集し、「社会と科学技術」に関する様々な課題を討議する場を設けて、それらの課題について若手研究者等が理解を深め、認識を共有し、若手研究者等が自らの行動目標や提案をアピールする機会を提供することが科学技術先進国である我が国の責務と考えられます。

筑波会議 2019 は、「Society 5.0 と SDGs を見据えた目指すべき社会の在り方とその実現に向けて取り組むべき課題」をメインテーマに、2019年10月につくば国際会議場を会場として開催されます。Society 5.0 と SDGs の先にある未来について語り合うべく若手研究者等が数多く参加することを期待する次第です。

筑波会議委員会

委員長 永田 恭介

## 会議の概要

### 1. 会議の名称とテーマ

- 1) 会議の名称  
筑波会議
- 2) 会議のテーマ  
社会と科学技術

### 2. 主催・併催機関などの名称

- 1) 主催  
筑波会議委員会
- 2) 協力機関  
筑波大学、東京大学、高エネルギー加速器研究機構、宇宙航空研究開発機構、科学技術振興機構、物質・材料研究機構、防災科学技術研究所、理化学研究所、国立感染症研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、産業技術総合研究所、国土技術政策総合研究所、土木研究所、建築研究所、国立環境研究所、国際協力機構、日本経済団体連合会、経済同友会、日本プロジェクト産業協議会、STS フォーラム、日本産学フォーラム、日本学会若手アカデミー、Global Young Academy、科学技術国際交流センター、つくば科学万博記念財団、茨城県科学技術振興財団、トヨタ自動車、日立製作所、CYBERDYNE、ファナック、首都圏新都市鉄道、産業経済新聞社、博報堂 DY ホールディングス、内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、茨城県、つくば市（順不同）
- 3) 協力  
独立行政法人国際観光振興機構

### 3. 開催期間

2019年10月2日（水）～10月4日（金）

### 4. 開催場所

つくば国際会議場  
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3  
電話 029-861-0001（代）  
ファックス 029-861-1209

### 5. 主催責任者

筑波会議委員会  
委員長 永田恭介（国立大学法人筑波大学長）  
事務局 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1  
一般社団法人筑波会議支援機構  
電話：029-853-4207  
E-mail: info@tsukuba-conference.com

## 6. 開催の経緯と意義

筑波研究学園都市が建設されてから 50 年の間、大学、国の研究機関、企業研究所は、多くの優れた研究成果を産み出すとともにそれらの成果の技術移転や社会実装に寄与してきました。

しかしながら、筑波研究学園都市として科学技術が直面する課題や社会的な課題の克服に対する貢献は必ずしも十分でなく、今後、個々の大学・研究機関等における研究活動とともに筑波研究学園都市として「社会と科学技術」に関する様々な課題に取り組むことを通じて、人類と社会に貢献することが期待されています。

このような中で、2017 年（平成 29 年）7 月 5 日に筑波会議委員会は、世界の若手研究者等が筑波研究学園都市に参集し「社会と科学技術」に関する様々な課題について討議する国際会議－筑波会議を開催することで意見が一致し、2019 年に筑波会議を開催することを決定したものです。

## 7. 開催計画の概要

### 1) 会議日程

10 月 2 日（水）	午前	開会式
	午後	サブセッション メインセッション
10 月 3 日（木）	午前	ノーベル賞受賞者スペシャルプレナリー
	午後	サブセッション メインセッション
10 月 4 日（金）	午前	スペシャルセッション ポスター・展示
	午後	スペシャルセッション ポスター・展示
	夕	閉会式・フェアウェルレセプション

### 2) メインテーマ等

#### 筑波会議 2019 メインテーマ

Society 5.0 と SDGs を見据えた目指すべき社会の在り方とその実現に向けて取り組むべき課題

#### 取り上げる課題の例

- ① Society 5.0 と SDGs を見据えた先端科学技術分野の研究と直面する社会的課題の解決に向けた取り組み
- ② Society 5.0 と SDGs を見据えた長命時代の健康、医療、社会システム
- ③ Society 5.0 における労働の在り方、労働の意義
- ④ Society 5.0 が真に多様性が許容される共生できる社会となるために
- ⑤ Society 5.0 と SDGs を見据えた発展途上国が真に「豊かな社会」となるために－感染症等の克服

### 3) 参加予定者

国内	1,000 名
海外	500 名
合計	1,500 名

4) 参加予定国 33ヶ国・地域

日本、アメリカ、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、ウガンダ、ウズベキスタン、エストニア、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、韓国、ケニア、コンゴ、シンガポール、スイス、スリランカ、タイ、台湾、中国、ドイツ、ニュージーランド、バングラデッシュ、フィリピン、ブラジル、フランス、ベトナム、マラウイ、マレーシア、モンゴル

5) 会議使用言語

原則として英語（日英同時通訳を導入）

8. 寄附金を必要とする理由

筑波会議は、活動分野や専門分野、文化的背景や所属組織、国籍等を異にする多様な若手研究者等が互いに刺激、連携して、それぞれの成果を挙げるとともに、それらの成果を人類と社会に対する貢献につなげていくことが期待されるものであります。筑波会議は、海外500名、国内1,000名、計1,500名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費は67,500,000円が見込まれています。これらの諸経費は、本来参加登録費等でまかなうことが建て前ではありますが、本会議は若手研究者の育成を目的の一つとしていることから、参加費を徴収しないこと、また優秀な若手研究者に旅費を支給する等の事由により10,000,000円の不足額が見込まれます。この不足額は諸企業及び諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。従いまして、下記の費用を会議に協賛する関係企業等からの寄附金にて充当したいと存じます。

9. 収支予算（案）

単位：千円

収支区分	金額
<b>(収入)</b>	
1. 自己負担金	50,000
2. 諸収入等	5,500
3. 補助金／助成金等	2,000
4. 寄附金等	10,000
収入合計	67,500
<b>(支出)</b>	
1. 会議準備費	4,095
2. 会議運営費	59,605
3. 展示会等	2,000
4. 募金経費	800
5. 事後処理費	1,000
支出合計	67,500

## 10. 寄附金募集要項

### (1) 募金の名称

筑波会議 2019 寄附金

### (2) 募金の目標額

10,000,000 円 (総額 67,500,000 円の内)

### (3) 募金期間

2019 年 4 月 2 日～2019 年 10 月 1 日

(注：会議開催日前の銀行営業日まで)

### (4) 寄附金の使途

筑波会議 2019 の準備並びに運営に関する費用に充当します。

### (5) 寄附金申込先

独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部交付金担当

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル 4 階

電話：03-6691-4852 ファックス：03-6856-1330

### (6) 寄附金振込方法

別紙のフローチャート通りとなります。

別紙申込書を国際観光振興機構にお送りください。

寄附金申込書を受領し確認次第、国際観光振興機構より寄附金申込受理書を送付いたします。寄附金申込書受理書を受領後、指定口座番号にお振込ください。

### (7) 税法上の扱い

この寄附金は、特定公益増進法人である独立行政法人国際観光振興機構への寄附金として、税法上の一般寄附金とは別途に損金算入等の優遇措置が講ぜられます。